

第4回 小林 登「子ども学」賞の 受賞候補者をご推薦ください。



小林 登先生

「子どもは未来である」。日本子ども学会の創設者である小林登先生は、ご専門である小児医学を超えて幅広い分野に関心をもたれ、子どもの幸せに配慮した社会をつくることに尽力されました。

日本子ども学会では小林先生の志を次の世代につなぐため、学会設立20周年を迎えた2023年に、そのお名前を冠した学術賞を創設いたしました。毎年秋、小林登「子ども学」賞の贈呈式を行っています。

<賞の趣旨>

本賞は、自然科学や人文科学を包括し、子どもにかかわる学際的・環学的な学問領域において、子ども研究を深め、創発する業績、並びに、子どもの生活環境を豊かにする成育デザインの開発や、子どもの問題の解決に寄与する実践などに すぐれた業績を挙げた人々（個人あるいは団体）を顕彰するものです。そのことにより、人間科学に関する多領域の関係者でそれらの成果を共有し、小林登先生が提唱された「子ども学」への社会的関心を高め、子どもの幸せに資する知識の深化や、社会システムの構築へとつなげてゆくことを目的とします。

<賞の内容>

記念盾、賞金5万円

<授賞対象>

- 1.公表された業績（論文、著作、実践報告等）
- 2.団体・個人による実践活動

※日本子ども学会の会員に限定するものではありません。

●推薦・審査方法

日本子ども学会の会員に対して、受賞候補者・団体の推薦を募ります。推薦者は、候補者・団体の情報および推薦理由を応募用紙に記入し、運営委員会に提出します。取りまとめられた各候補者・団体は、審査委員会が慎重かつ厳正に審査し、理事会が受賞者を決定します。

●スケジュール

- 2025年11月1日 候補者の推薦受付開始
- 2026年5月5日 候補者の推薦受付締切
- 2026年5～7月 審査・選考
- 2026年8月 受賞者の決定
- 2026年9月5日 贈呈式（於：第22回子ども学会議）

<問い合わせ先>

日本子ども学会 小林 登「子ども学」賞係



詳細は日本子ども学会のホームページをご覧ください（推薦を希望される会員の方は、推薦書をダウンロードください）。なお、お問い合わせにはメールでご返答をいたします。

<https://kodomogakkai.jp/07/>

Eメールアドレス: kodomogakusho@gmail.com